

カベルゴリン錠「サワイ」を 服用される患者さんをご家族の方へ

このお薬は、パーキンソン病治療、高プロラクチン血症治療、生殖補助医療に伴うOHSSの発症抑制に使用されるお薬です。

OHSS：卵巣過剰刺激症候群

医師の指示どおりに服用してください。

- このお薬の飲み始めに、吐き気、食欲低下といった症状がよくあらわれます。多くの場合、飲み続けているうちに症状が軽くなりますが、がまんせずに医師に相談してください。
- お薬の急な減量・中止はやめましょう。

このお薬によるパーキンソン病の治療を急に中止した場合、38度以上の発熱、意識がうすれる、筋肉のこわばり、ふるえなどの症状があらわれることがあります。

服用中に気になる症状があらわれたり、お薬が効かないと感じた時には、服用をやめずに医師に相談してください。

パーキンソン病以外の治療の場合でも医師の指示どおりに服用することが重要です。

お薬を服用中に気をつけなければならないこと

日中の眠気・突然の眠気・失神

前兆のない突発的睡眠(突然の睡眠)、傾眠(ぼんやりする)、起立性低血圧(立ちくらみ)、失神がみられることがありますので、自動車の運転、機械の操作、高所作業など危険を伴う作業をしないでください。



心臓の弁の異常(心臓弁膜症)

息切れしやすくなる、呼吸が苦しくなる、胸がドキドキするなどの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。定期的に心エコー検査などの検査が行われます。



間質性肺炎・胸膜炎など

発熱、咳嗽(咳)、胸の痛み、息切れ、呼吸困難(息苦しい)などの症状があらわれたら、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。



幻覚・妄想など

実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、根拠のない思い込み、非現実的なことを強く確信することがあります。



衝動制御障害

社会的に不利な結果を招くにもかかわらず持続的にギャンブルを繰り返す、病的に性欲が高ぶる、強迫性購買(買わずにはいられなくなる)、暴食(むやみにたくさん食べる)などが報告されているので、このような症状があらわれた場合には医師に相談してください。



- 妊婦または妊娠している可能性がある人、妊娠を希望する人は医師に相談してください。
- 授乳は避けてください。
- 長期間服用する場合は、定期的に一般的な婦人科の検査が行われます。
- 妊娠を希望する場合は、妊娠を早期に確認するため定期的に妊娠反応等の検査が行われます。

その他にも気になる症状があらわれた場合には、すぐに医師または薬剤師にご相談ください。